

風の子デイキャンプ

- 開催日 2019年1月26日
- 会場 多摩川河川敷（川崎市多摩区）
- ディレクター名 工藤 伸也（しんちゃん）

■キャンプのねらい

- 外遊びを思いっきり楽しみ、また来たい！やりたい！という言葉が自然と発せられる。
- 遊びの中から自由な発想を生み出す力を育む。

■同行スタッフ（キャンプネーム）

ねぶた、びんきー、まいまい、たけ、おりお、たごたご、りゅー

■活動内容

<午前>
集合
多摩川河川敷到着
アイスブレイクゲーム
昼食

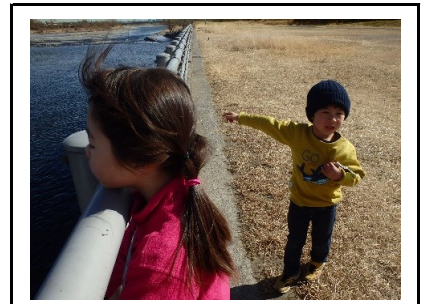
<午後>
ダンボール滑り台作り
土手すべり
おやつタイム
多摩川河川敷出発
解散



河川敷に到着。まずはアイスブレイクゲームでみんなと仲良くなる。



たくさん遊ぶため、お弁当でエネルギーチャージです。



空いた時間に河川敷探検。見慣れない景色に興味津々です。



ダンボールをつなげて滑り台作り。隙間ができないよう真剣です。



土手すべりスタート！みんなはしゃいで楽しみました。



これが本当の土手すべり？滑り台を使わない遊び方を考えました。

■キャンプのエピソード

泣いて始まり、泣いて終わるキャンプ

年少から参加できるデイキャンプは時間が短く、テーマもシンプルですが、幼児の子どもからすれば、一大イベント！大冒険の始まりです。ゆえに、よく集合時に寂しさから泣いてしまう子どもがいます。しかし、どの子どもも活動が始まってしまうとウソのように泣き止み、楽しんでしまうのです。今回はそのような子どもだけでなく、解散時にも「もっと遊びたかった！」と泣いてくれる子どもがいました。子どもたちにとってこの時が大切な経験となり、今度は笑顔で「久しぶり！」と再会できれば嬉しいです。

楽しい遊びは自由な発想から生まれる

今回は「土手すべり」というテーマのもと、子ども達から様々な発想が生まれることを期待していました。しかし、当日はあまりにも風が強い上、滑り台がよく滑りませんでした。この状況で楽しめるかどうか心配でしたが、そこには満面の笑みを浮かべる子どもたちがいきました。子ども達から「こっちでやろう！」と斜面の急な場所で、ダンボールをそのように扱う遊びが生まれるなど、子どもたちは大人が考えるより遅く、まさに「子どもは風の子」だと再確認した1日でした。